



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊 ニュース

2011年10月30日 No.772

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674



共産党 品川

検索

区内にホットスポットないか…

公園
など

放射線量を測定

共産党
区議団



放射線量測定を子どもたちが見学(10月23日、戸越南公園)

測定データは大学の先生にみていただいて、当ニュースで報告します。



「ホットスポット探しのような測定は風評被害を広げるのでやらない」…共産党の要望に区はこういって拒否しました。そこで共産党区議団は独自に放射線量を測定。私(みやざき)も10月22日(土)〜23日(日)に15施設、40ヶ所を測りました(写真参照)。

共産党区議団が提案しているのは、現在の区の測定だけでなく通学路・公園などの草むらや滑り台の下、側溝などホットスポットになりやすい場所をきめ細かく測定することです。小さい子どもを持つ母親らの心配を受けて区に要望しました。

品川区の測定は週1回、保育園や小中学校、公園など2ヶ所づつ。1施設1ヶ所で校庭の真ん中辺りです。「比較的低い」と言われている場所だけ測定して「安心」だと言っても区民は納得しません。大田区は小中学校の雨どいなどホットスポットになりやすい所も測定し13校で国基準を超える放射線量を発見して除染しています。品川区もこうした対応が必要です。

「ホットスポットさがし」は風評被害まき散らす—という区の姿勢を追及

共産党は放射線量をきめ細かく測定するよう求めて区側と論戦しました。以下、論戦の要旨を紹介します。

[9月22日 区議会本会議]

質問 鈴木ひろ子議員：品川区の放射性物質測定は、土壌で小中学校の校庭、保育園の園庭、公園の砂場の各1ヶ所のみ。これでは汚染の高い「ホットスポット」を見つけることができない。私立も含め学校や保育園、通学路など芝生や草むら、滑り台の下、側溝など「ホットスポット」になりやすい場所をきめ細かく測定し、汚染程度が高いところがあれば除染すること。あわせて、給食食材の検査体制強化をしていただきたい。

答弁 都市環境事業部長：現状では国際放射線防護委員会が定める年間1ミリシーベルトをはるかに下回っており問題のある数値は計測されていないので、**ホットスポット探しのよ**うな風評被害をまき散らすようなことを行う考えはない。

[9月26日 文教委員会(陳情審査)]

質問 飯沼雅子議員：現在の測定地点だけでなく、もっときめ細かく測定してほしい。

答弁 教育委員会庶務課長：東京西側の目黒、世田谷、品川は放射性物質は少ないと言われている。それに基づいた定点観測は、科学的データの治験として十分だ。**区は土壌84ヶ所**を定点観測している。ほぼ100%大丈夫。現状のモニタリングを継続する。

※審査の結果「品川区の子どもたちを放射能被ばくから守るための陳情」が趣旨採択。(下のコラム参照)

[10月13日 決算特別委員会]

※同日の朝刊で「大田区13小中学校 基準超す放射能を検出」と報じられる。



質問 みやざき克俊議員：大田区は小中学校13ヶ所でホットスポットがあった。品川区も調査して、なかったらいいし、あったら除染すべきだ。品川区は、ホットスポット探しは風評被害を広げることになるからやらないというのがなぜか。大田区は雨水が流れてくるところを調査したが、品川区はそうしたところをなぜ調査しないのか。

答弁 都市環境事業部長：区は65万円の機械を1台購入し、東京都からもう1台借りて高精度測定機器を2台保有することになった。これからは各所管、それぞれの施設で測定が必要と思われるところは、施設のほうで測定していく。

答弁 教育委員会庶務課長：必要に応じて教育委員会や学校で測ることにしている。



ご相談ください

お困りのときは、いつでも

みやざき克俊事務所
TEL 378616674

無料法律相談は
11月18日(金)

お知らせ

都営住宅 入居者募集

11月1日より都営住宅の入居募集が行われます。ご希望の方はお忘れないうちにお申し込みください。



「放射線量測定と高線量部位の除染を」 区議会陳情が全会一致趣旨採択

先の定例議会に、区民から学校などで放射線量測定を求める陳情が提出されました。内容は幼稚園や学校への放射線量計の配置と計測。高線量部位の除染。給食食材の独自検査と除染など求めています。区は大丈夫と言ってきましたが、陳情は全会一致で趣旨採択されました。

